

女性の職域拡大 中小が積極採用

製造・営業現場

企業の人手不足の深刻化を背景に、県内ものづくりの現場など中小企業でも女性の活躍が目立っている。女性を含めた幅広い人材を求める動きが開始されたためだ。政府が成長戦略として掲げる「女性の活躍推進」が追い風となり、仕事に対する女性の意識変化も相まって、職域拡大の機運は今後も高まりそうだ。

金属切削加工の今橋 事務職のほか、営業や製作所(日立市)は昨 製造現場まで幅広い。年から、女性社員の採用を積極的に進めている。「薄さの追求や絶対用を積極的に進めている。現在の社員約20人のうち4分の1は女性。担当する職種も、



製造現場で旋盤加工を担う阿部夏子さん(日立市十王町)

成長戦略も追い風

同社の製造現場で働く阿部夏子さん(19)は4月に入社した「旋盤女子」。入社前は、素材を回転させながら切削加工を行う旋盤加工の存在すら知らなかった。昨年の就職活動の際、たまたま手にした求人票を見て製造現場を見学し、魅力に引かれた。

阿部さんは「知る機会が少ないだけ。実際に現場を理解すれば、製造をやってみたいと思う女の子は必ずい

る」と、後輩の女性の入社を心待ちにする。同社の今橋正守社長は「これまで、製造現場は男性のものという思い込みがあった。今後は女子高などへも情報発信し、優秀な人材を招き入れたい」と強調し、今後は休憩室の改装など職場の環境整備を進める。

■やりがい重視 「働くことに対する考えや理由など、明確にしておくことが大事」。土浦市内のホテルで16日に開かれた就職支援セミナーでは、

呉職業能力開発協会キヤリア形成サポーターの矢部悦子さんが出産や育児などでいったんは仕事を離れた女性約20人を前に話した。セミナーでは、自己分析を深め、幅広い業種を対象に興味の再確認を行うことなどを促した。つくば市の女性(55)は「職種にこだわらず、やりがいの持てる仕事を見つけた」と、再就職に意欲を示した。

金融機関も企業の女性雇用を後押ししている。常陽銀行(水戸市)は今月上旬から、女性の活躍を支援する企業を対象に、金利を優遇した融資商品の取り扱いを始めている。 ■意識の変化 政府は、6月に示した成長分野と骨太方針の中で「女性の活躍の場拡大」を掲げた。景気回復に伴い企業の人手不足が深刻になる中で、幅広い人材の活用は企業の成長に欠かせないと、意識が変わりつつある。

民間調査会社の帝国データバンク水戸支店が県内企業を対象に昨年7月に行った調査によると、女性の活用や管理職登用を一進めている企業は47.3%。「有能な人材活用」や「女性の労働観変化」などが進める理由として示された。 社会保険労務士の皆川雅彦さんは「有効求人倍率が1倍を超え、これまで男性中心だった企業が女性にも目を向けるようになってきた。省力化による事務職業務の縮小なども背景に女性の働く職域は広がってきている」と指摘した。(前島智仁)